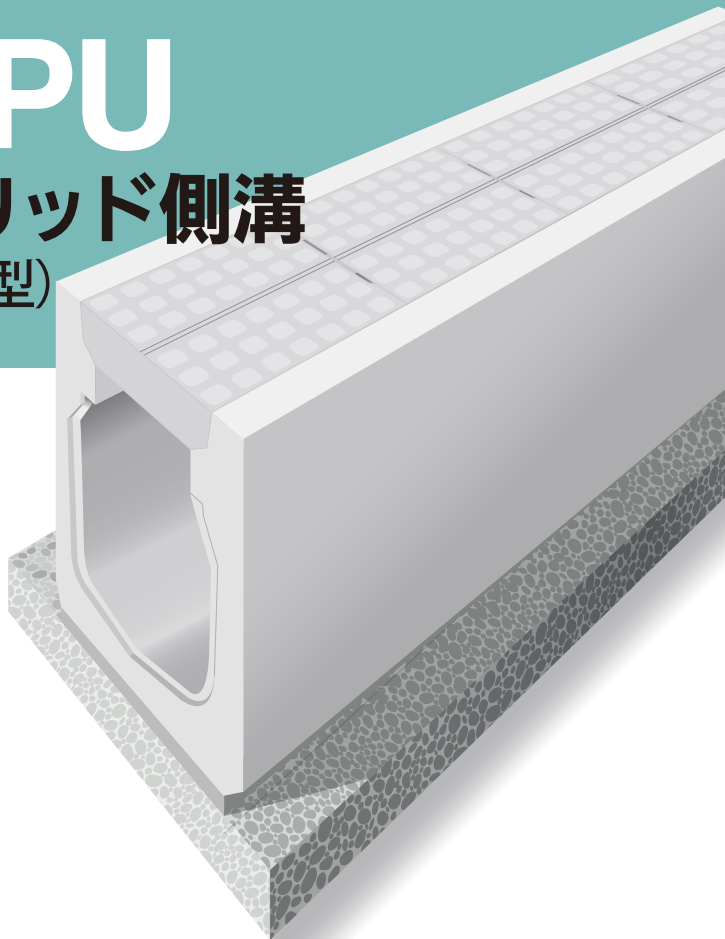


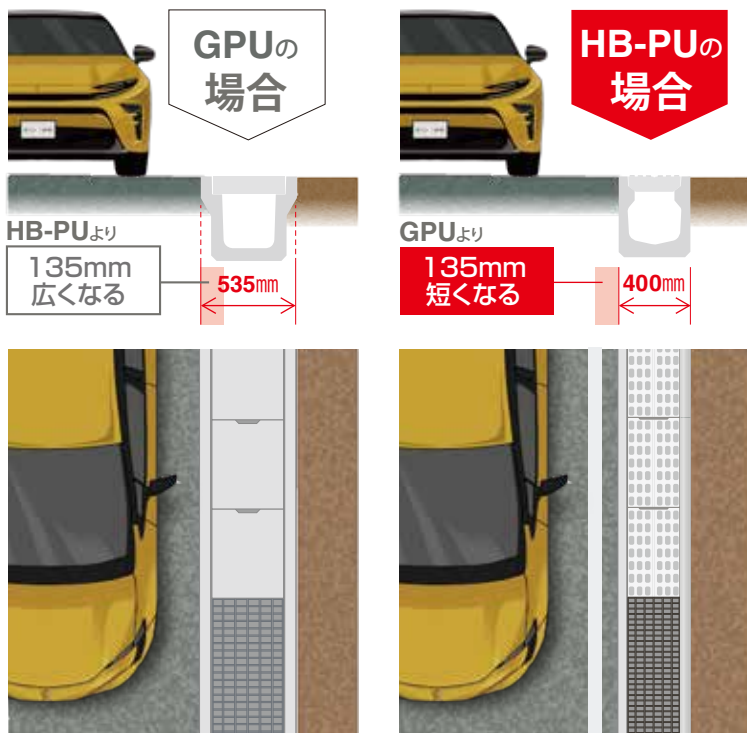
HB-PU

ハイブリッド側溝 (消音スリム型)

側溝幅を狭くすることで舗装幅を広げられ、
車両の走行性が向上。
また、製品軽量化により、
CO2削減や価格の低減に成功しました。



1 側溝幅を最大限に狭くしました



※300×300×200の場合

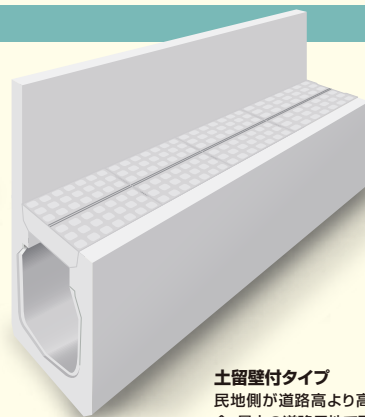
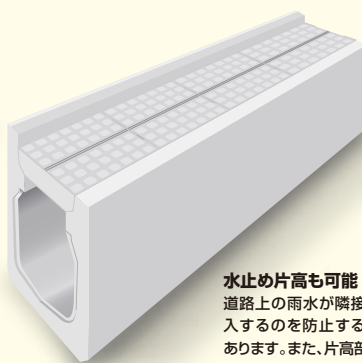
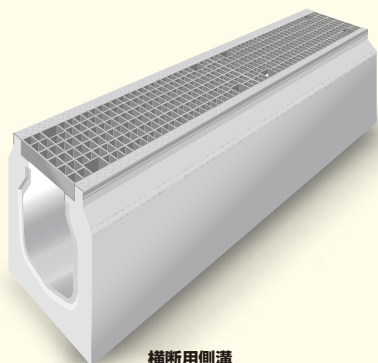
GPUとHB-PUの
製品価格
サイズ:300×300×2000

GPU
の場合

HB-PU
の場合

GPUよりも
安価に提供可能!

様々なタイプをご用意



藤岡コンクリート工業株式会社

HB-PU ハイブリッド側溝 (消音スリム型)

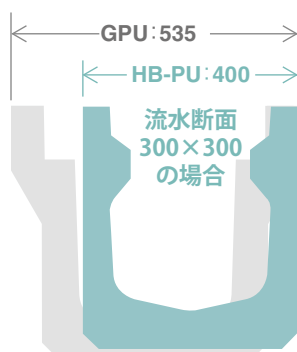
軽量化されたHB-PUは、
施工の容易さやコスト削減に貢献します。

① 側溝幅を最大限に狭くしました。

側溝幅を狭くすることで舗装幅を広げられます。

GPUに比べてスリムなため、舗装幅が拡大します。

側溝を含めた最小の路肩幅0.5mの位置に外側線が設置可能となり車両走行の安全性が向上します。



③ 製品軽量化により 施工性を高めました。

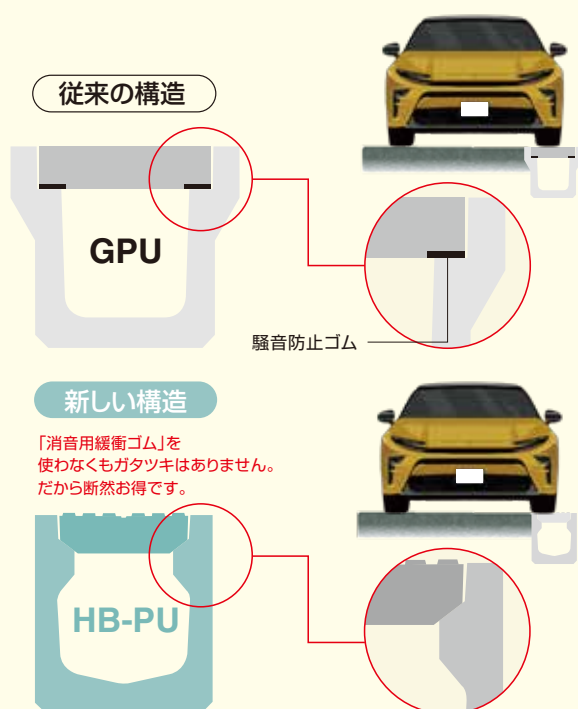
軽量化された製品による
施工の容易さやコスト削減。

GPUと比較して軽いため、施工時においても扱いやすく、作業をスムーズに行うことができます。また、外吊りだけでなく内吊りが可能なため、官民(民)境界など既設の構造物や丁張(水系)に支障がありません。



② 優れた消音効果

蓋を斜に受ける構造により、車両走行に伴うガタツキ音が減少します。住宅地等に最適であり、住環境にやさしい製品となっております。従来製品の騒音防止ゴムを使用しません。



GPUとHB-PUの 製品価格

サイズ:300×300×2000

GPU
の場合

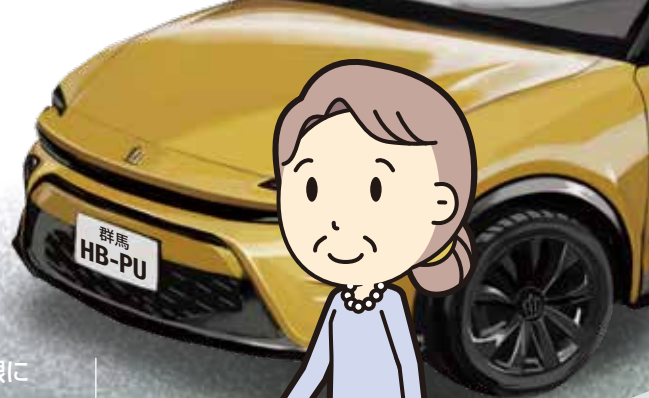
(緩衝ゴム付)

HB-PU
の場合

(緩衝ゴム必要無し)

HB-PU303なら「消音用緩衝ゴム」を使わなくてもガタツキはありません。だから断然お得です。

GPUよりも
安価に提供可能！



1 側溝幅を最大限に狭くすることで、舗装幅を広くできます。

ガッツキの少ない構造。

4 直付け・L型擁壁との組み合わせに最適。

間詰めが不要、側面脇の沈下を防ぐ。

製品の側面が直壁となっており、既設の構造物などに直接取り付けることが可能です。これにより、「間詰め」が不要になり、路盤工の転圧も均一化され、製品の側面脇の沈下を防ぐことができます。また、L型擁壁との組み合わせにも最適です。



5 製品軽量化により

従来製品をコストダウン、CO2削減。

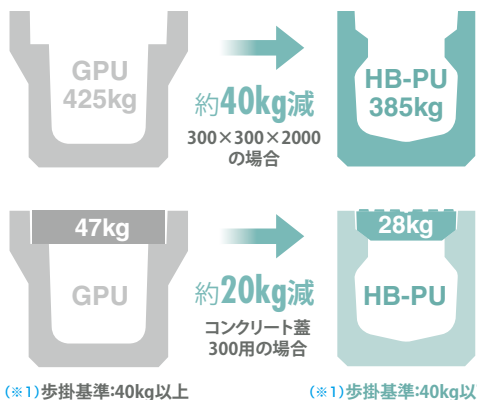
GPUと比較してスリムなため、残土量の縮減、重機の縮小などにより、施工性の向上と共に工期の短縮につながり、全体的にコストダウンが図れます。

残土量が約13%縮減

※10m当たり2t車の場合



GPUとHB-PU重量比較



セメント使用量、運搬料削減によりCO2排出量の削減。

側溝製作にともない使用するセメント(※2)や運搬により発生するCO2排出量を大幅にカット。環境にやさしいインフラ整備を実現します。

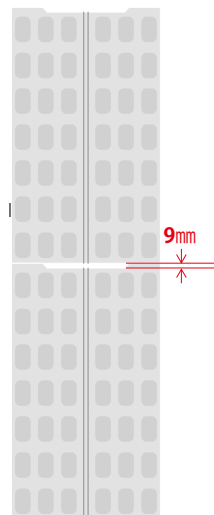
※1 排水構造物工／蓋版据付

※2 セメント製造工程において、CO2が多く発生します。

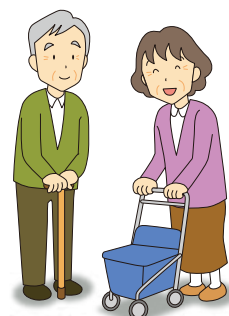
6 手掛けが9mmとなっており、車椅子や杖等の使用者にやさしい製品となっています。

蓋表面に滑り止め効果がある模様を施してあるため、滑り難く歩行性に優れています。

6 バリアフリー対応(コンクリート蓋)。



蓋の手掛けが9mmとなっており、車椅子や杖等の使用者にやさしい製品となっています。病院、福祉施設、公共施設等の外構施設(側溝整備)で、バリアフリー製品が求められるエリアに最適です。蓋表面に滑り止め効果がある模様を施してあるため、滑りにくく歩行性に優れています。



《施工例》
Construction example



標準タイプ



藤岡市

横断タイプ



藤岡市



前橋市

土留壁タイプ



高崎市



桐生市



高崎市



藤岡市

水止めタイプ



みどり市



桐生市



高崎市



高崎市



ISO9001 認証取得

藤岡コンクリート工業株式会社

〒375-0021 群馬県藤岡市小林735番地
TEL: 0274-22-1038 / FAX: 0274-22-1091
www.fujioka-con.jp

代表取締役 竹市 孝和

群馬県測量設計業協会 賛助会員
群馬県建築士事務所協会 賛助会員

群馬県コンクリート製品協同組合
理事長 竹市 和義《藤岡コンクリート工業(株)専務取締役》

2025年4月